

# 松韻魂

～進路だより2017～

平成29年度 第1号

2017. 5. 23

## 昨年度の進路状況

28年度	大学	短大	専門	就職	その他	計	決定率
全体	24	9	61	89	15	198	92.4%
男	20	1	27	41	4	93	95.7%
女	4	8	34	48	11	105	89.5%

※ただし、「その他」には進学・就職以外の進路の者も含む

上の表は、この3月に卒業した松韻5期生の進路決定状況です。進路決定率が9割を超え、蓮田松韻高校としては初めての結果となりました。中には「国立大学」「私立難関大学」をはじめ、難関看護専門学校、有名企業へと進む先輩たちもいます。「数」だけではなく「質」も上がってきています。

しかし、一方、進路未定者の中に「在学中にほとんど進路活動をしていない」ケースや、「いろいろと希望進路先が変わり、結局なにもできていない」ケースもありました。そういう先輩たちの中には「高校時代にもっと真剣に考えるべきだった。」と後悔している人もいます。

在校生の中に、卒業後“アルバイトをしながら正社員の道を探す”といった甘い考えや、“まだよくわからないからとりあえず卒業を”と思っている生徒はいませんか？正直、一般の求人は高校新卒の求人に比べかなり厳しいのが現実ですし、高校を卒業したら「既卒者」（すでに卒業した人）となり、就職はもちろん、進学でもかなり厳しい状況になってしまいます。ですから「現役」（卒業してすぐ就職したり進学したりすること）にこだわってください。つまり、「今」から……

生徒一人ひとり、自分の希望進路には真剣に向き合ってください。

「心」が変われば「態度」が変わる。

「態度」が変われば「行動」が変わる。

「行動」が変われば「習慣」が変わる。

「習慣」が変われば「人格」が変わる。

「人格」が変われば「運命」が変わる。

「運命」が変われば「人生」が変わる。

自分の可能性を探して、努力をしてください。努力は人を裏切りません。

さて、3年次生でもまだ自分の進路についていろいろと悩んでいる人も多いと思います。進学はお金がかかるから就職と考えている人……君ができることは何ですか？……就職は「やりたいこと」で探すのではなく「できること」で探すものです。一方、大学や短大、専門学校へ進学し努力をすれば、「できること」が多くなり、仕事に就ける可能性は、今よりもはるかに高くなります。生涯賃金も大きく変わります。確かに、入学金や学費などは大きな負担になりますが、早い段階で準備を始めれば間に合います。簡単に進学することをあきらめないで下さい。

## 今年度の進路指導部

今年度は、齊藤康（進路指導主事 英語）、齊藤徳（副主事 家庭科）

1年次 前田(担任 芸術科)、金市(副担任 英語科)、伊勢谷(副担任 国語科)、藤原(年次付 理科)

2年次 萩野(担任 英語科)、関口(副担任 国語科)

3年次 浅見(担任 英語科)、白井(担任 地歴公民科)、菊池(副担任 英語科)

以上の11人で皆さんの進路実現のサポートをしていきます。進路についての疑問・質問にはいつでも答えますので、気軽に相談して下さい。

## 中間考査と基礎力診断テストの結果について

5月2日に全学年で英数国3教科の基礎力診断テストがありました。その結果が近日中に本校に届きます。3年生はこれが今年度最後です。結果は「Aレベル」から始まる2段階学習到達ゾーンの診断で出ますが、「D2レベル」（最低D3レベル）以上であれば、進学、就職どちらでも可能性が大きく広がります。事前学習の「One-Weekトライアル」はしっかりできましたか？日々の学習（努力）が将来を決定づけるのです。

1、2年生は3学期にも基礎力診断テスト(第2回)を実施します。1回目よりもステップアップをするようにしましょう。

5月24日(明日)から中間考査です。テストを受ける準備(学習)はできていますか？よく耳にする言葉で「NO勉」がありますが、**学校は勉強する場所です**。「NO勉」という言葉そのものが恥ずかしいものなのです。まず、それを恥ずかしいと感じる「心」を持ちましょう。一週間前と担任の先生から連絡があっても、平然と勉強しない態度を反省する「心」を持ちましょう。特に3年次生は、ここで成績を上げていくことが自分の希望進路の実現には絶対に必要なのです。

## 今後の進路選択において重要なこと

まず大学や短大、専門学校を受験する場合、本校の生徒の多くはAO入試や推薦入試を活用しています。しかし、昨年度は一般入試でチャレンジする先輩がいました。彼らは、朝早くから補習に取り組んだり、放課後も残って勉強したり・・・と真剣そのものでした。その姿勢を受け継いでください。それには、強い「心」が必要です。「必ず達成する」という強い「心」を持ちましょう。

さて、3年次の生徒諸君に伝えます。

進学先へのエントリー(申込み)が早い学校だと5月から始まってしまうAO入試という入試の形があります。すぐに準備を始めないと間に合いません。早めの準備が大切です。オープンキャンパスでもAO入試の説明があるので、聞いてみるのもいいでしょう。ただし、簡単にエントリー(申込み)をしないようにしてください。エントリー(申込み)をする前に、必ず担任の先生や年次の先生、進路指導部の先生に相談してからにしてください。

また、推薦入試を希望する場合、大学や短大、専門学校が設定する推薦基準を満たすことはもちろん必要ですが、本校ではそれに加えて、

### 「問題行動による特別指導(謹慎以上)を受けていないこと」

が推薦のための条件となります。また、今年度の2年次からより細かく欠席日数などの条件が設定されます。(詳しいことは、後日説明があります。)

推薦とは、学校長の名で「蓮田松韻高校で有意義な高校生活を送った生徒であり、入学後もしっかり勉学に励める生徒である」と保証することです。いい加減な生徒を推薦する訳にはいきません。謹慎などの特別指導を受けないことはもちろん、卒業後も努力を続け、しっかりと学業に取り組むことのできる生徒を推薦するのです。せっかく入学しても、その後の学生生活がおろそかになれば、君たちを推薦した蓮田松韻高校が信用を失い、後に続く後輩たちの推薦入学を受け入れてもらえなくなります。推薦を希望する場合は、一般受験での進学に比べ、はるかに大きな使命と責任と負うものであることを十分に自覚してこれからの学校生活を送ってください。

最後に就職についてですが、「勉強するのがイヤだから就職」と考えている場合は就職できません。就職試験や実際に就職した後も基礎学力や一般常識は重要になります。学力が就職でも必要なものでちらにしても「勉強」が必要です。

(文責 進路指導主事 斉藤康彦)